

V. 各種学校の経営に資する事業（寄付行為第4条4号）

日本語学校



本科秋期卒業式



本科クリスマスパーティー

【本科】 2009年度の本科は春・秋学期とも昨年度を下回る学生数となった。特に春学期は37名と前年に比べ5名の減少となり、秋学期は若干増えて39名とはなったが、やはり昨年度には及ばなかった。学生の国籍は春学期15ヶ国、秋学期17ヶ国と大きな変化は無い。

学習者の内訳では、春・秋学期とも就学ビザの学生の減少が目立つ。家族の経済的な問題で入学を辞退した学生もおり、世界的な経済不況の中で日本留学を目指すことの困難さがかがわれる。全体的には、日本人の配偶者や家族滞在者など日本在住の外国人が過半数を占めるという状況に変わりはないが、やはり経済的な影響からか、以前のように別科で学んでから本科へという形での学生の移動は減少している。

また、10月から開始した2010年度の春期コース募集も反応が少なく、経済の急速な回復が望めない中では、今後も引き続き学生募集の困難さは続くと思われる。

【別科】 別科は春・秋学期とも昨年度とほぼ同じ学生数を確保できた。要因としては、不況の中で外国人にとっての日本語能力の重要性が増していること、本科に比べ期間も短く学費も安価な別科に学習者が移動していることなどが考えられる。

7月～8月開講の夏期集中コースは、中級レベルのクラス定員を拡大し、初級から中級まで3レベルのクラスにほぼ定員に近い学生が集まったため、これまでに最も多い受講者数となった。

1月開講の冬学期は、中国の学生の多くが2月の春節に国へ帰るため、学生数は多少減少したが、午前・午後の中級クラスを一つに統合するなど、クラスの編成を変えることで対応した。

2月には学習者層の底辺の拡大を目指し、試験的に初心者向けの短期入門コースを開設した。

名古屋YWCA学院日本語学校奨学金

春期奨学生には3名の応募者から、奨学金委員会において選考の結果、中国とロシアそれぞれ1名の学生が奨学生として選ばれ、4月から9月までの6ヶ月、毎月15,000円の奨学金が給付された。

秋期奨学生には5名の応募があり、中国と韓国の学生1名ずつが選ばれ、10月から3月まで6ヶ月間、毎月15,000円の奨学金が給付されることとなった。

(鈴木ゆみ)

【開催プログラム】

□本科コース

コース名	学期	期 間	時間数	クラス数	学生数	国籍
本科一年課程	春	2009年4月～9月	400	4	35	15
	秋	2009年10月～2010年3月	400	4	39	17

本科年間行事

学 期		行 事
春学期	4月1日	春期コース入学オリエンテーション・クラス分けテスト
	4月22日	春期奨学金授与式
	5月29日	遠足（愛知県陶磁資料館）
	7月17日	スピーチコンテスト
	8月3日～8月31日	夏休み
	9月	期末試験
	9月28日	秋期コース卒業式・春学期修了式
	9月29日～10月9日	秋休み
秋学期	10月13日	秋期コース入学オリエンテーション・クラス分けテスト
	10月20日	秋期奨学金授与式
	10月23日	学力試験
	12月4日	健康診断
	12月11日	クリスマスパーティー
	12月24日～1月5日	冬休み
	2月	スピーチコンテスト
	3月	期末試験
	3月19日	春期コース卒業式・秋学期修了式

□別科コース

学期	コース名	期 間	時間数	クラス数	学生数	合計	国籍
春	別科 午前	2009年4月～7月	69	4	57	134	33
	別科 午後	4月～7月	69	3	37		
	別科 夜間	4月～7月	60	4	40		
夏	夏期集中	7月～8月	69	4	49	49	21
秋	別科 午前	9月～12月	69	5	56	135	31
	別科 午後	9月～12月	69	3	42		
	別科 夜間	10月～2010年2月	60	4	37		
冬	別科 午前	2010年1月～3月	69	5	47	70	16
	別科 午後	1月～3月	69	2	23		
	入門	2月	12	1	8	8	5